挑みつづける、変わらぬ意志で。

東京商工会議所

第 28 号　2023

TOSHO LADY

組　織　概　要

設　　立　1949年９月　会員数 312名（2023年３月末現在）

活動スローガン　**“新時代の未来を共に築く より速くチャレンジ、より強くチェンジ”**

目　　的　本会は、会員相互の親睦と連携を密にして、女性経営者の向上と商工業の振興を図り、兼ねて社会福祉の増進に寄与することを目的とする。
（女性会規則第１条）

会員資格　本会の会員は、東京商工会議所会員事業所の女性経営者ならびに女性役員で本会の目的に賛同した者とする。
（女性会規則第４条）　※法人・個人は問いません。

年　会　費　年額：10,000円
※加入初年度の年会費は加入月により異なります。
４月～９月加入　　10,000円（全額）
10月～２月加入　　5,000円（1/2）
３月加入　　年会費はいただきません

女性会の主な活動

東京商工会議所女性会は、東京商工会議所会員企業の女性経営者・役員が加盟する団体です。
東京商工会議所の活動の一翼を担う団体として、女性の柔軟かつ大胆な発想と実行力を最大限に活かし、
女性が一層輝ける環境づくりを目指し活動してまいります。

交流委員会

「ビジネス交流会や経営者のネットワーク強化
～ビジネスに役立つ交流会～」
経営者の繋がりを広げるための交流会の実施

研修委員会

「女性経営者の資質向上と経営者の育成」
女性経営者の資質・意欲向上並びに事業の発掘に資する企画の立案及び新規事業の提案

ご挨拶

東京商工会議所女性会
会長 畠山 笑美子

東京商工会議所女性会は、1949年に設立され、今年74年目を迎える全国の商工会議所で最も歴史のある女性経営者の団体です。長い歴史の中で我が国の社会・経済が大きく変容を遂げるなかでも、東商女性会は、一貫して女性が活躍するための環境づくりや女性経営者の資質向上を目指し積極的に活動してまいりました。

この３年間は、新型コロナウイルスの影響で女性会の活動も制限を余儀なくされましたが、東商女性会はオンラインを活用するなど創意工夫をこらして事業を継続してまいりました。いかなる状況でも、会員同士が協力し合い、互いに高め合うことができるのが東商女性会の強みでもあります。

東京商工会議所女性会は2022年10月に理事選任選挙を行い、11月から新しい体制のもと活動をスタートしました。今期は、「新時代の未来を共に築く より速くチャレンジ、より強くチェンジ」のスローガンを掲げ、メンバーの積極性やアイディアを活かし、未来を恐れずに、素早く対応するチャレンジ力と、強い意志で勇気をもってチェンジする力をもって、より多くの女性が輝ける団体を目指し活動していきたいと存じます。

会員の皆様にとって実りのある会となるよう、東商女性会一丸となって活動してまいりたいと存じますので、引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願い致します。

交流委員会

副会長
田口 絢子

副会長
安藤 邦子

委員長・理事
小池 道子

副委員長・理事
赤池 左知代

副委員長・理事
山崎 和子

副委員長・理事
幾島 光子

副委員長・理事
北島 アキ子

理事
遠藤 陽子

理事
緒方 智英子

理事
小池 淑子

理事
財津 澄子

理事
袋川 咲栄

監事
桑田 雅子

研修委員会

副会長
志賀 律子

副会長
倉光 美也子

委員長・理事
亀谷 広美

副委員長・理事
田村 麻紀

副委員長・理事
真下 美由起

副委員長・理事
高田 直美

副委員長・理事
中村 鈴子

理事
石井 清香

理事
石川 元子

理事
宇都 ひろ子

理事
毛塚 真紀

理　事
前田 恵子

監事
湯原 玲奈

東京商工会議所女性会の活動

（2022年4月～2023年3月）※標記中の役職は実施日の役職です。

2023年 東京商工会議所女性会 新年懇親会

■実施日：2023年１月30日（月）17時30分～19時30分　■会場：ホテル椿山荘東京 ホテル棟１階「ボールルーム」　■参加者：149名

１月30日、ホテル椿山荘東京にて東京商工会議所の小林健会頭ら、多数のご来賓をお迎えして、３年ぶりの新年懇親会が開催されました。

畠山会長は会の冒頭、「昨年11月より新体制となり、【新生女性会】をテーマに、【より速くチャレンジ】、【より強くチェンジ】というスローガンを掲げました。変化の激しい時代、未来を恐れず、多くの女性が輝ける女性会を目指します。」と挨拶をいたしました。

続いて来賓を代表して、東京商工会議所の小林健会頭から祝辞を頂きました。

当日は新入会員５名のご紹介やマジシャンはやぶさ氏によるマジックショーの他、次年度の関東商工会議所女性会連合会総会の開催地である前橋商工会議所女性会の石川会長、全国商工会議所連合会全国大会の開催地である新潟商工会議所女性会の佐野会長にご挨拶を頂きました。

コロナ禍の影響を考慮し例年よりコンパクトな会となりましたが、会場は大いに盛り上がりました。

畠山会長挨拶　登壇した正副会長

東商小林健会頭　祝辞

新入会員5名の自己紹介

他の商工会議所女性会との連携

全国商工会議所女性会連合会

概　要
（2023年３月時点）

■設　　立：1969年７月　　■会員資格：各地商工会議所女性会
■組　　織：(1)会員数：417商工会議所女性会　(2)役　員：62名
約20,000名　　会　長：畠山 笑美子(東京商工会議所女性会会長)
■U　R　L：http://joseikai.jcci.or.jp/

総会（ハイブリッド形式）に参加（2022年10月７日・８日）

全国商工会議所女性会連合会（全商女性連、市瀬優子会長）は10月7日(金)、8日(土)に「第54回全国商工会議所女性会連合会福島全国大会」を福島県郡山市で開催し、全国319女性会から約2,400名が参加（オンライン含む）しました。

全国大会では、「第21回女性起業家大賞」表彰式と全商女性連表彰授賞式を開催した他、次回開催地である新潟商工会議所女性会による開催地PR、全国商工会議所女性会連合会旗の引渡しが行われました。

また記念講演会では、東京農業大学名誉教授　小泉武夫様に「発酵食品は女性を美しくする」をテーマにご講演いただきました。2日目は、福島の魅力ある各地を巡るエキスカーションを実施しました。

挨拶する市瀬会長、三村会頭

東商女性会集合写真

関東商工会議所女性会連合会

概　要
（2023年４月時点）

■設　　立：1985年10月
■会員資格：関東地方(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・静岡)の各地商工会議所女性会
■組　　織：(1)会員数：82商工会議所女性会　(2)役　員：16名
約4,400名　　会　長：畠山 笑美子(東京商工会議所女性会会長)

東商女性会・関商女性連共催講演会（オンライン・配信型）を開催（2023年2月27日～３月6日）

東商女性会と関東商工会議所女性会連合会で実施している共催事業について、2022年度は新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑みて録画動画配信によるオンライン講演会を開催しました。株式会社ビジネスバンク　代表取締役　浜口 隆則氏を講師にお招きし、『社長力の10分野―社長が会社を成長させるために鍛えるべき10の重要ポイント―』と題して開催、延べ241回の視聴がありました。

講師の浜口 隆則 氏

東京都内商工会議所女性会

東京都内（東京・八王子・武蔵野・町田）商工会議所女性会共催「八王子市内「高尾山」視察」を開催（2022年11月18日）

都内４商工会議所（東京、八王子、武蔵野、町田）女性会で実施している共催事業について、2022年度は八王子市内の観光名所である「高尾山」を視察し、都内4商工会議所女性会より、計37名が参加いたしました。当日は大本山髙尾山薬王院の御護摩体験及び法話を聞き、また八王子車人形を鑑賞しました。視察の後はうかい鳥山にて懇親会を実施し、各地商工会議所女性会で交流を行いました。

大本山髙尾山薬王院での集合写真

プラスαの人的・知的交流の促進
経営者とのネットワーク強化

【時代の変化に呼応！　女性会初のオンライン形式・ハイブリッド形式を導入】

**今期（2019年11月～2022年10月）は『交流』に『観光』が加わり、活動の幅が広がった委員会です。
オンラインやハイブリッド形式にいち早く取り組み、ICTを駆使して、リアルとオンラインの両輪で
交流促進や観光振興を通した経営者のネットワーク強化をはかってきました。**

主催事業

『SDGs×ビジネススタイル』フォーラム

■日時：2022年７月25日（月）15:00～17:00　■開催形式：ハイブリッド形式
■開催会場：学士会館　■参加者：総勢42名

経営へのSDGsの導入取り組み

急激な時代の変化とともに、新しい生活様式が提唱され、ビジネススタイルも刻々と変化を遂げている中、企業は社会課題の解決や持続的な発展のため「経営へのSDGsの導入取り組み」が推進されるようになりました。そこで「SDGs導入」にフォーカスし、各界のオピニオンリーダー３名をパネリストにお招きして「SDGs経営を学ぶ･知る･考える」フォーラムをハイブリッド形式で開催しました。

会場参集記念写真

オンライン上の融合写真

〔SDGs経営を学ぶ〕

■講演　『SDGs経営』　講師：内川あも 氏

「SDGs経営」とは、自社の事業を通じ、社会の課題であるSDGs を解決する持続可能な取り組みです。

〈講師〉内川あも 氏　ブレイン有限会社 代表取締役
講演では「SDGs経営」がスムーズに行えるように、5ステップについての説明のほか、最新のエシカル消費、世界的な消費スタイルの変化とSDGsとの密接な関係など、目から鱗が落ちるような講演を頂きました。視点を変えれば、中小企業こそ、SDGsの導入によって収益をあげるチャンスであることがよく分かりました。

〔SDGs経営を知る〕

■パネルディスカッション

まず、服部津貴子氏が、「SDGsと食育」についての講話を行いました。

〈登壇者〉服部津貴子 氏　学校法人服部学園 常務理事
平成17年に制定された、食育推進基本計画の課題は「1：生涯を通じた心身の健康を支える　2：国民の健康、持続可能な食を支える　3：社会、環境、文化、「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進」で、SDGｓと深い関係があるというお話を伺いました。

次に、下田令雄成氏が、「Dual Life＆Dual Work」について講話を行いました。

〈登壇者〉下田令雄成 氏　株式会社シャイニング　代表取締役
東京都（渋谷区）に会社を置き、５年前より群馬県（前橋市）に生活拠点を移し、Dual Life＆Dual Work（二拠点生活や副業兼業を軸にした生き方・働き方）の普及・推進活動について伺いました。Dual Lifeを実践するには、地域・家族・仲間との価値観の共有が大切であると分かりました。

次に、佐藤綾子氏が、「経営者のコミュニケーションにはSDGsの土台、『大善』の思想を置こう」について講話を行いました。

〈登壇者〉佐藤綾子 氏　株式会社国際パフォーマンス研究所代表取締役
大善とは、分かりやすく言うと「社会・自分・相手のために」という「三つの貢献」で、SDGsとは大善のコンセプトを具現化したもの、コミュニケーション力の向上に、IQ（知能指数）EQ（感情指数）に加えて、PQ（自己表現力指数）が重要だ、など興味深いお話を拝聴できました。

会場の様子
（スクリーンにはオンライン参加者を投影）

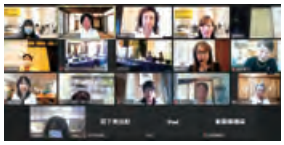
〔SDGs経営を考える〕

■トークセッション

３つのグループに分かれ、パネリストを囲んで参加者とのトークセッションを行いました。

服部氏とのセッション

佐藤氏とのセッション



下田氏とのオンライントークセッション

結びに

初のハイブリッド形式での開催で、何か月も前からテストやリハーサルを重ねた結果、終了後にオンライン参加者からも「会場の声もはっきり聞こえ、臨場感が伝わった」との嬉しい声が届きました。

主催事業

2022年 東京商工会議所女性会 サマー懇親会

■日時：2022年８月23日(火) 17時～19時　■開催形式：参集型
■開催会場：学士会館　210号室　■参加者：70名

新年懇親会の開催が、コロナ禍により２年に渡り見送られましたが、感染対策をした上で、８月23日、久しぶりにサマー懇親会として、学士会館において開催され、70名の会員が参加いたしました。歴史的建築の重厚な雰囲気の会場では、懇親会開始前より久しぶりに対面することができた会員同士、マスク越しではありましたが再会を喜び合い挨拶を交わしました。

最初に、市瀬会長が「世の中がコロナ禍で一変した中で、今期のテーマである、SDGsやジェンダー平等や男女共同参画や女性活躍推進に関する問題提起などは少しずつ前に進めることが出来ました。６月に内閣府で決定された『女性版骨太の方針2022』で、全国の商工会、商工会議所における取組も明記され、東商本部にもこの事を働きかけていきたいと思っております。」と挨拶を述べ、会がはじまりました。

続いて、内川副会長が進行役を務めて、2020年２月より2022年６月までに入会した会員のうち、本日出席した15名の新入会員の紹介をしました。

会場の様子

美味しい料理と共に歓談が進んだところで、アトラクションとして、華やかな衣装に身を包んだマジシャンのマリリン氏(会員)が登場、マジックショーがはじまりました。予想外のものが突然飛び出したり、消えたり、空を飛んだり。そして「東商女性会、輝く未来へ」という文字が表れ、最後は、舞台いっぱいに色鮮やかな万国旗が広がり、会場は終始笑顔と拍手でいっぱいでした。
最後に、緒方副会長が中締めの挨拶を述べ、懇親会は閉会し、終了後に記念写真を撮って解散となりました。

委員会活動

最新情報やトレンドをキャッチ　『専門家解説』

2022年４月～９月　ハイブリット形式２回、オンライン形式３回の委員会を開催し、その一部で10名の委員による『専門家解説』№21～№30を実施しました。

No.21〔健康分野〕『取り外し可能な矯正』

〈解説者〉瀬口委員　銀座せぐち歯科医院　歯科医師
大人になる程、目立たない矯正を好む傾向があるとのことで、取り外しが可能な使いやすい矯正法についてお話頂きました。

No.22〔危機管理分野〕『危機管理商品』

〈解説者〉廣田委員　セラフィック株式会社　代表取締役
災害時のトイレとして開発した、医療・介護現場で使用している特殊構造ポリ袋を用い、ハンドバックに入る携帯用の簡易トイレの実物を見せながら解説頂きました。

No.23〔健康分野〕『周囲を一瞬にして笑顔にする方法』

〈解説者〉吉武委員　マリリン企画　代表／マジシャン
社会全般が暗くなったコロナ禍、マジックを使って社員を笑顔にしたいと、習いにくる経営者が増えたそうで、その場で出来るマジックを伝授いただきました。

No.24〔外国人雇用分野〕『社長必知「外国人のビザ」の話』

〈解説者〉湯原委員　マリッジデザイン株式会社　代表取締役
行政書士でもある湯原委員から、外国人雇用に関するビザ問題で「急な雇用解除の事例」「在留期間の管理」、「在留資格の特性」についての解説をいただきました。

No.25〔健康分野〕『眼精疲労解消法』

〈解説者〉三宅委員　株式会社レミディインターナショナル　代表取締役
疲労回復には人間が持っている微弱電流を活用して目の疲れを癒す技術で他人から施術を受けるほうが効果は高いのですが、自分で出来ることもある、と簡単な施術法を指教いただきました。

No.26〔食品分野〕『元祖サプリ＝紅茶の効能を考える』

〈解説者〉指田委員　ロチャンティー・ジャパン株式会社代表取締役
「元祖サプリ」と言われる紅茶の様々な効能をお教え下さり、楽しみと健康の両面から分かりやすいお話しを頂きました。

No.27〔税務分野〕『インボイス「適格請求書」の疑問』

〈解説者〉田口委員　株式会社ワン・ステップ　代表取締役／税理士
2023年10月１日から施行のインボイス制度の疑問を整理して、企業が取り組むポイントやその準備が進むように旬のテーマで解説を頂きました。

No.28〔ビジネス分野〕『EQを利用した経営者の向上』

〈解説者〉田村委員　株式会社ドライビングフォース　代表取締役
「偉大な経営者は社員や顧客の感情を理解し、より良い経営をしてきた」として、EQ（心の知能指数）の特徴を解説。

No.29〔PR分野〕『SNSによる自社事業プロモーション』

〈解説者〉山崎(和)委員　ガウス株式会社　代表取締役
プロモーションはマスコミ→ホームページ→SNSに移行してきましたが、身近なSNSについて図を交えて、具体的な話を伺いました。

No.30〔建設分野〕『女性のための次世代ユニフォーム』

〈解説者〉鈴木委員　カラーテクノ株式会社　代表取締役／塗装診断士
建設業界は男性社会であり、建設道具にしてもユニフォーム(作業着)にしても、男性向きのものばかりなので、女性活躍を目指すために、自社でサイズやデザインに拘り、尚且つ作業がしやすい、女性用のユニフォームを開発した秘話を伺いました。

社会貢献・少子化委員会

女性活躍推進と、次世代の活動支援

子どもが健やかに育つ社会を作るためには、子どもを育成する側が輝ける活躍できる環境が、いかに大事であるか、
内閣府男女共同参画局とおこなってきた委員会主催事業の“講演会”や“トークセッション”は、私たちに多くのことを問い、そして学び、
意識改革の気づきを得ました。お互いの立場の違いに理解を深め、気づきがあったとすれば、それこそが社会を変える第一歩だと思います。
女性を取り巻く環境を女性自らが変えていくことが出来るように、周囲との連携を深めながら一歩ずつ前進し、
男女共に“幸せで豊かな環境”・“笑顔あふれる社会”・“明るい未来”を目指し、次世代にも継続される社会貢献活動を目指します。

委員会活動

第14回　委員会

■開催日程：2022／5／16　月曜日　15:00～16:00
■開催形式：ハイブリッド（参集・Zoom）
■開催会場：麻布十番　SHARE M-10（シェア エムジュウ）
■開催内容：①プチセミナー
　　②主催事業について

【プチセミナー】「健康経営の取り組み」

会社を挙げて「健康経営」に取り組むことで、スタッフの体調不良による欠勤・遅刻が減り、目に見える成果が表れ、血液検査の改善にもつながった取り組みについて。

健康経営優良法人４年連続認定。2022年度ブライト500取得

瀧田裕子さん　三井温熱株式会社 代表取締役社長
PROFILE
1997年に「脳動静脈奇形」と診断を受け手術の選択はせずに温熱療法で予防し続けることを選択。それから20年間、病と向き合いながら会社を経営。現在千葉県内に「健康経営」を広める活動を実施、定期健診受診の推奨など活発に社外活動をおこなっている。

【検討事項】－主催事業テーマについて－

働き方改革、男女格差、女性活躍推進など。。。何に一番関心あるかグループミーティングにて検討

第15回　委員会

■開催日程：2022／6／21　火曜日　15:00～16:00
■開催形式：ハイブリッド（参集・Zoom）
■開催会場：麻布十番　SHARE M-10（シェア エムジュウ）
■開催内容：①プチセミナー
　　②主催事業について

【プチセミナー】「契約にまつわるあるある話」

経営者であれば必ずと言っていいほど目にする、契約書に関する話。契約書に関する質問やチェックを数多く依頼され取り組んできた熊谷弁護士から見て、契約書の重要性、見るポイント、間違った認識などを、経験に基づき簡潔に紹介。

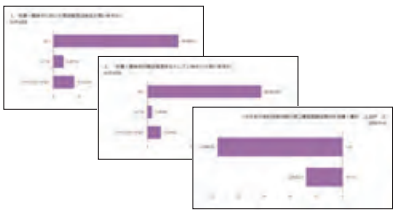
熊谷吏夏さん　望月・熊谷法律事務所
PROFILE
広島県出身　弁護士
企業法務から離婚、相続など個人事件、刑事事件など取り扱う

【検討事項】
－主催事業内容について－

前回検討したテーマ、働き方改革・男女格差に絞り内容を検討

【アンケート調査】

参加者を対象に経営者としての意識調査実施。



継続事業

“こどものみらい古本募金”・“こどもスマイルムーブメント”の活動を継続して支援します

こどものみらい古本募金

読み終えた本を寄贈することで こどものみらいを応援する支援活動につながる活動（2022年度　49件、1243冊　寄付）

こどもスマイルムーブメント

東京『未来の東京』戦略としてチルドレンファーストの社会の実現に向けて応援、支援する活動

主催事業

私たちから始めよう！男女格差解消と働き方改革

一部：データ解説「女性活躍・男女共同参画の現状と取組について」（岡田局長）
二部：トークセッション“縮まらない男女格差の現実を変えられないのはなぜか”
“輝く未来にするために必要な働き方改革とは・・”

■実施日：2022年９月22日（木）15:00～16:30　■開催場所：東京商工会議所会議室
■開催形式：ハイブリット開催

■ゲストスピーカー

岡田　恵子　氏
PROFILE
内閣府 男女共同参画局 局長
1990年 京都大学経済学部を卒業し、同年旧経済企画庁へ入庁
公益財団法人 連合総合生活開発研究所、法政大学大学院政策創造研究科教授、内閣府、消費者庁、内閣府男女共同参画局総務課長、外務省大臣官房審議官などを経て、2022年６月から現職

■スピーカー

井上　博貴　氏
PROFILE
東京商工会議所 青年部会長／品川支部 副分科会長
愛知産業株式会社 代表取締役社長
しながわ観光協会理事、経済産業調査会委員、品川区都市観光プラン専門部会委員、日本商工会議所エネルギー・環境専門委員会委員に就任し地球温暖化対策など幅広く活動

■モデレーター

能登　すみれ　氏
PROFILE
東京商工会議所女性会／社会貢献・少子化委員会所属
一般社団法人WOMAN TO WORK協会代表
Wブランディング株式会社 代表
女性リーダーの育成、女性のキャリアアップ支援、起業支援などの女性のマネジメントスクールを開校

■スピーカー

田村　麻紀　氏
PROFILE
東京商工会議所 女性会／社会貢献・少子化委員会所属
株式会社ドライビングフォース 代表取締役会長
技術経営修士･国家資格キャリアコンサルタント､中小企業のキャリアデザイン研修、ワークライフ相談、職業能力開発支援活動

一部は内閣府男女共同参画局岡田局長により、「女性活躍･男女共同参画の現状と取組について」と題し、データをもとに解説いただいた。少しずつではあるが意識改革・数字改善が見られてきており、これからの若い世代に期待していきたい。

世代間のアンコンシャスバイアスの違いでは若い世代は上司からの一言で意識が変わってしまう、思い込んでしまうということが起こっている。上の世代の発言内容に意識を向けて見ることも重要そうだというお話をいただいた。

第二部は縮まらない男女格差の現実に、変わらない、変えられないのはなぜか？輝く未来にするために必要な働き方改革とは？評価基準、マネジメントの方法、チームの作り方など多様性がもたらすメリット、デメリットに対応できる働き方ついてトークセッションをおこなった。

◆岡田局長より所感

日本の男性は現状、家事や育児などにほとんど参加できていないが、働き方改革と女性活躍推進はセットであり、働き方を変えていかなければ現状は変わっていかない。

男性も地域社会への参加という意識も持ち、ただ働くだけではなく人生そのものを変えていく必要があると考える。

また政府としては、若い世代が両立を諦めなくてよい世の中を作っていく重要性を感じている。

◆井上氏より所感

企業や政治のトップの意識のアップデートを行い、社会全体で変えていこうとしないと実現しない。意思決定の場に女性が入っていくことが重要であり、男女が一緒になって法整備、企業へのアプローチを考えていかないといけない。国には大胆なサポートを期待したい。青年部としても活動展開を行い、未来デザインを図っていきたい。

◆田村氏より所感

女性へのメンターも必要だと思うが男性にもメンターが必要なのではないか？男性への学習機会がもっとあった方が良いと考えている。

◆能登氏より総評

組織は男女両方で成り立っているので男女で分断されていてそれぞれで悩んでいるという課題を感じている。距離があると思い込んでいるアンコンシャスバイアスの打破が必要である。

トークセッションを通じてフラットに議論が出来るという実感がわいたのではないだろうか。このような取り組みが各所で増えていくことが豊かな日本を作っていくことに繋がるのではないだろうか。

データ解説、クロストーク、アンケートの実施を通じ、非常にポジティブ且つ男女格差解消と働き方改革、意識改革への一助を担えるイベントとなった。

女性会で実施したアンケートの実施結果

企業が求めているサポートは教育、研修の提供であるという結果が出ており、上の世代、男性向けの女性育成法の研修が必要になる傾向を示している。

事業をスムーズに運営するための イノベーションを見いだし活動に取り入れる

【委員会活動～所属委員の取り組みを共有し、相互の学びを深める】
当委員会では５回の委員会、２回の主催事業を行いました。委員会ではメンバーから各自の経営、運営する事業を通して得た知見を共有頂き、相互の知識を深める場を作っています。
変わりゆく世の中に対応するうえで、イノベーティブな意識はなくてはならないものです。
今後も意見交換・レクチャー・情報発信の場として更に委員会を活性化して参ります。

委員会活動

第10回　委員会　市瀬会長と歴代会長からの講話

■日時：2022年４月27日(水)　15:00～16:00
■開催形式：オンライン形式(Zoom)

現会長と歴代会長の３名より、女性会の発足や会長時代に心がけていたことなどについてご講話いただきました。

◆山崎登美子前々会長

会長時代のスローガンである「思いやり、一歩譲って共に歩もう」は女性会の会員同士の結束の上でもとても大切な考え方です。常に思いやりといたわりの心をもって行動することでよいコラボレーションが生まれます。

また、意見を相手がどのように受け止めるかを感じ取ることも大事です。会長時代は自身の意見を前に出さずに周囲の意見を取り入れるように心がけました。それを受け、必要な意見は副会長だった藤沢さんに代弁いただきました。かつての女性会は入会にあたり適性や人柄を見たうえで入会へ進むという試験のようなものがございました。自身も紹介者からの面談を受けた記憶があります。

◆藤澤薫前会長（録画参加）

会長時代は良いことは認め、間違いと思うことは優しさと思いやりを以て正すことをモットーとし、民主的な運営を心掛けました。本業になるべく支障が出ないよう、理事会の後半に委員会の打ち合わせの時間をとることで、効率的に女性会活動を行えるように配慮しました。在任中はサマーセミナー、親睦会、全女連や関女連などのイベントのほか、70周年記念という大きな行事がございました。70周年に当たっては被災地訪問と式典及び記念誌の発行などに皆一丸となって取り組みました。

女性会は経営者の資質向上が大きな目的です。自身の感情のままにネガティブな流れを作ることなく質の高い女性会となることを目指していただきたいです。

◆市瀬会長

女性会の発足時から今に至る経緯について丁寧に解説頂きました。

今の女性会は先人の凛とした意志と先見の明に基づき成り立っています。そのことに改めて思いを馳せ、誇りと責任をもって事業に邁進するとともに、女性会の結束を強めることで相互に支えあい育ちあう組織となることが大切です。

◆その他

６月１日～２日に愛媛にて開催される観光振興大会について、参加を促す案内がございました。

主催事業

日本科学未来館での講演と視察及び意見交換会

■日時：2022年８月29日（月）15:00～18:30　■開催形式：参集型
■開催会場：日本科学未来館「木星」他　■出席者：24名

女性会イノベーション推進委員会の事業として、日本科学未来館において浅川智恵子館長より講演をいただくとともに、「きみとロボット展」等の視察を通し、生活に密着した様々な科学イノベーションについて学びました。

講演会

講演会の様子

参加者

《講演者》

浅川智恵子博士は2021年４月毛利衛氏に次ぎ二代目の日本科学未来館館長に就任。IBMの最高技術者であるフェローとして視覚障碍者支援プログラムやアクセシビリティの研究実績をお持ちです。2013年には紫綬褒章を受章されました。全盲の女性科学者として世界的にも注目され、その活動と実績には大きな期待と評価が寄せられています。

《講演内容》

浅川館長の講演は、私たちの生活に身近な話で興味深く、未来に向かって勇気づけられるものでした。社会実装の壁を越えて、インクルーシブな未来社会の実現に向けて、常に研究・努力をおしまない姿勢にとても勇気と感動をいただきました。

《その他》

質疑応答では、３名の方から感想及び質問がありました。

最後に浅川館長、伊藤副館長、屠経営戦略室室長と共に参加者の集合写真を撮影しました。

写真撮影後は浅川館長との名刺交換や懇談なども活発に行われ、その後視察会場へと移動しました。

特別展「きみとロボット展」及び常設展示の視察

特別展「きみとロボット展」ポスター展示内容

特別展は130体のロボットが一同に集められた国内でも最大規模の展示でした。介護系、工業系、癒し系の多様な分野のロボットを見学、体験することができ、AIの進歩を実感しました。

また、常設展では宇宙飛行士の居住空間のモジュール、

カミオカンデの模型、微生物の研究などの展示を視察。日本科学未来館の象徴的な展示である巨大な地球儀の前で写真撮影する姿も見られました。

《意見交換会及び懇親》

フォーシーズの干田氏より料理の紹介をいただき、和食、洋食からそれぞれ好きなメニューを選び各テーブルのメンバーと懇親を深めながら会食を行いました。

《感想》

久しぶりの視察を兼ねた会員同士のコミュニケーションの機会を、お台場という少し非日常の空間で楽しむことができました。

ネットワーク構築と海外視察の実施

この委員会では、海外進出している企業、
これから進出する企業の経営者のために国際ビジネスに潜む問題点を認識し、
今後の展開のために最新情報をキャッチアップします。
そして、将来への展開を検討する機会を提供できる場にしようと２年間活動をしてきました。
国際ビジネス委員会の３年目の活動はネットワーク構築と海外視察の実施です。
今までの活動で得た情報及び問題意識を基に、ネットワークを広げ、学びと交流を兼ねた海外視察を実施しました。
これは委員会発足当初からの到達目標ですが、未だ続くコロナ禍のため対面の海外視察は実現困難ですので、
オンラインを活用した交流、視察をしました。

主催事業

第５回国際ビジネス委員会事業

■日時：2022年９月12日（月）14時～16時　■参加者：46名　■開催形式：オンライン形式（Zoom）
■演題：「オーストラリアを知って国際ビジネス！」

【講師】

(1) オーストラリア クィーンズランド州
政府 駐日代表　安達 健 様
『オーストラリアクィーンズランド州の
魅力と日本との関係』

(2) ツアーゴールドコースト（株）代表
扇 徳宏 様
『ゴールドコーストの魅力（動画紹介）
とコロナ対応の現状』

(3) ワイドエステート（株）代表
砂川 盛作 様
『ゴールドコーストの不動産事情』

(4) ハーディング法律事務所代表
豪州弁護士　ハーディング 裕子 様
『オーストラリアでの会社設立の方法と
具体例・一般雇用概要』（ビデオレター）

(5) ブリース洋子公認会計士事務所代表
豪州公認会計士　ブリース 洋子 様
『オーストラリア進出に必要な税務知識』

(6) エメラルドレイクスゴルフクラブ代表
小笠原 文子 様
『リゾート地ゴールドコーストでの生活、
住み心地』

オーストラリアクィーンズランド州の魅力と日本との関係について、州政府駐日代表の安達様からご講演いただいた後、ゴールドコーストで活躍する日本人経営者５名それぞれから、ご自身の体験談、日本の経営者へのアドバイスなどを伺いました。

コロナ禍で海外旅行にも制限が続く中、美しいオーストラリアの風景や躍動感伝わるアクティビティ動画も織り込みながら、現地に視察ツアーに出かけているような雰囲気を体感していただけるように企画しました。

途中10分程度の休憩時間の後、緒方副会長の乾杯の挨拶から開始した質疑応答のコーナーでは、途中Zoomのチャットでいただいた質問をまとめ、ゴールドコーストの経営者の皆様から回答やコメントをいただきました。和気藹々とした雰囲気の中、ゴールドコーストを楽しみながら多くの学びをいただいたひとときでした。

委員会活動

第５回 国際ビジネス委員会

■日時：2022年５月31日(火) 14時～15時
■開催形式：オンライン形式(Zoom)

緒方副会長より『暦と日本人』という演題でミニセミナーを行いました。

暦とは「季節を予知」する事の重要性＆「自然との共生」から誕生しました。中国より伝来した太陰暦が、貴族社会の和風化に伴い日本独自の文化として形成され、明治６年に新暦になるまで2000年以上も、日本の生産，政治，経済と共に有りました。皇紀2682年とも言える今も、それは生活の中に脈々と受け継がれています。

例えば、干支（えと）の干は十干、支は十二支であり、この二つを順次組み合わせる事で暦が表現され、それが60年で一巡し周期が戻る事から「還暦」と呼ばれ、祝いの行事をする日本独自の慣習となった等、日本の文化について学ぶ機会となりました。

委員会活動

第６回 国際ビジネス委員会

■日時：2022年８月１日(月) 14時～15時
■開催形式：オンライン形式(Zoom)

９月事業に向けて役割分担や当日の進め方について、最終的な調整、準備を行いました。

３年間を振り返って最後に一言

緒方智英子副会長

国際ビジネス委員会を立ち上げ、ジェトロやジャイカのご協力を頂いての海外進出の足がかりを学びました。海外需要、直接輸出や投資など、これからの日本にとって必要不可欠です。そのためには、世界に向けたビジネスを販路開拓の新たな道筋として選択出来るように取り組むべきで、その環境を整える必要があります。今こそ国際ビジネスのチャンスであることを学びました。

須永明美委員長

「国際ビジネス委員会」はグローバルに活躍する女性経営者を支援し国境を越えたネットワークを拡げることを目標に2019年にスタートしました。しかしながら予想もしなかった感染症の世界的な拡大により委員会活動はオンラインなどに限定せざるをえず、その中でどうすれば当初の趣旨に沿いながら会員の皆さんに質の高い情報を提供できるか、常に模索する日々でした。

先の見えない不安な中にありながら真摯に企画運営に取組んでくださった担当理事の皆さん、そして委員会の進行に協力してくださった委員の皆さん、イベントに参加してくださった多くの会員の皆さん、サポートしてくださった東商事務局の皆さんに心から感謝いたします。ほんとうにありがとうございました。

石井清香副委員長

“市場を求めて、海外に進出してみたい。でもノウハウがない。コネもない。情報もない。”という３重苦の環境でも、今後の市場開拓の一筋の光になればという考えで始めた委員会でした。コロナ禍で、試行錯誤しながらでしたが､オンラインというコロナ禍の副産物で､台湾､オーストラリアの商工会議所のみなさまとの交流を実現できました。商工会議所のコネクションもフル活用し、理事、委員の皆様と力を合わせ、実りある委員会だったと思います。ありがとうございました。

田中洋子理事

国際ビジネス委員会には、緒方副会長をはじめとした東商の国際経済委員会委員も３名おり、イベント毎の方向づけに意識を集中していました。

大きめのオンラインイベントには東商全体のPRも兼ねて、例外で、会員外の参加も募りました。

オーストラリアのクィーンズランド州商工会議所の皆様とのバーチャル海外視察会では、参加したゲストから、「海外ビジネスというと、憧れながらも不安が勝って考えないようにしていたが、現地に根を張った方々が、実際に相談にのってくれるのは、怖さが払拭された気持ちだ。そして、クィーンズランド州の日本人商工会議所と実際にネットを通じて顔を合わせて話せたことで、大きな可能性を感じられた。商工会議所の存在の意義を認識した。」という感想なども来ていました。

台湾との交流(林慧美氏)

全国商工会議所

観光振興大会2022 in えひめ松山

■実施日：2022年6月１日(水)～3日(金)
■会場：愛媛県松山市

2022年６月1日～３日、愛媛県松山市において、全国商工会議所 観光振興大会2022 in えひめ松山“地域の宝　磨いて興そう　観光聖地”（日本商工会議所・松山商工会議所主催、愛媛県商工会議所連合会共催）がリアル参加とオンライン参加の併用によるハイブリッド形式にて2年半ぶりに開催された。全国約147商工会議所・連合会等から981名が現地にて、59商工会議所・連合会がオンラインにて参加し、東商女性会からは15名が参加致しました。

分科会

1日は県民分科会館（分科会1～3）と坊っちゃんスタジアム（屋外/分科会4）にて、大会コンセプトである“地域の宝　磨いて興そう　観光聖地”をベースに4つの分科会を実施いたしました。各会場ではパネリストが登壇、松山の資源の磨き方や具体的な観光誘致に向けて意見交換が交わされました。

東商女性会企画 国重要文化財見学

女性会（交流・観光委員会）企画として、国重要文化財“萬翠荘”と敷地内の“愛松亭”を訪問しました。

緑に囲まれた趣のある佇まいの中、文豪の歴史に思いを馳せながら、マドンナ珈琲や坊っちゃんだんご等をいただき寛ぎの時間を過ごしました。

全体交流会

“ガストロノミー”をコンセプトに、松山城を望む城山公園（屋外）にて全体交流会が開催されました。

その土地に根差す食材や食文化を味わい、自然に囲まれて山のいただきの松山城を眺めながらの交流会は、屋外（コロナ下での感染防止対策含めて）ならではのもので、貴重なガストロノミーツーリズムを体験出来ました。

全体会議

翌2日は全体会議が県民文化会館で開催され、冒頭に今年100周年を迎える日本商工会議所 三村明夫会頭の開会挨拶がありました。

基調講演には“俳句のみやこ松山”を代表する、俳句集団「いつき組」組長 夏井いつき氏が登壇され、「人・街・未来をつくる、たとえば俳句。」と題して、数多くある観光資源から、たとえば俳句で考えるテンポのよい講話に聞き入りました。

そして、パネルディスカッションと続き、えひめ松山アピールが採択後、最後に次回開催地、水戸大会の紹介がされ閉会となりました。

エクスカーション

午後からは参加者が希望するコースに分かれて、愛媛県の魅力や観光聖地を堪能するエクスカーションへ参加いたしました。

渋沢栄一翁 直筆の書　（道後温泉ふなや 展示）

全体会議会場 県民文化会館前にて

愛松亭前

商工会議所女性会活動指針

わたしたち、商工会議所女性会は、リーダーとして、
凛と信をもって連帯し、平和で心豊かな社会を築きましょう。

一、リーダーとは、高い志をもって、自己の変革・向上を目指すことです。

二、凛とは、情熱・勇気をもって行動し、社業の発展に努め、
地域社会に貢献することです。

三、信とは、礼節・勤勉を尊び、美しい自然や良き伝統・文化を愛し、
次の世代に継承することです。

四、連帯とは、女性経営者の友情と信頼の輪を内外に広げることです。

東商女性会歴代会長一覧

【歴代会長】

初　代	藤村千良	第7代	吉川稲美
第2代	竹内寿恵	第8代	山崎登美子
第3代	松川サク	第9代	藤沢　薫
第4代	森井登久子	第10代	市瀬優子
第5代	小泉清子	第11代	畠山笑美子
第6代	斎藤朝子		

商工会議所女性会の歌

野村若葉子 作詞
服部　良一 作曲

1.
日本の国の街々の
女性の力　かぐわしく
生産の
燈を守り　守り
ここに集う　我ら
前途明るい
商工会議所女性会

2.
世界に並ぶ国々に
女性の力　かぎりなく
商(あきない)の
交りひろげ　ひろげ
ここに進む　我ら
理想は高く
商工会議所女性会

3.
険(けわ)しい世にも助け合う
女性の力　逞しく
新しい
人の和築き　築き
ここに唄う　我ら
心豊かな
商工会議所女性会

TOSHO LADY

東商レディ

2023年６月２日／第28号

発行所　東京商工会議所
　　総務統括部　総務課　組織連携担当
発行人　東京商工会議所女性会
編　集　東京商工会議所女性会